

第61回 日本学士院

公開講演会

THE JAPAN ACADEMY 61st PUBLIC LECTURE

2014年10月25日[土]

午後2時～5時10分 **聴講無料**

(各講演は質疑を含み80分)

場所 日本学士院会館 東京・上野

定員
150名

先着順

講演1

イタリアでの発掘40年

Forty Years Archaeological Excavation in Italy



日本学士院会員
文化庁長官
東京大学名誉教授

青柳 正規

あおやぎ まさのり

専攻 ▶ 美術史学・古典考古学

司会 | 伊藤貞夫会員

講演2

未来社会をつくる科学技術

Science and Technology for Future Society



日本学士院会員
(独)理化学研究所理事長
名古屋大学特別教授

野依 良治

のより りょうじ

専攻 ▶ 有機化学

司会 | 内田祥哉会員



上野の山文化ゾーンフェスティバル
講演会シリーズ

日本学士院 第61回 公開講演会

日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本院会員のお話を聞いていただけるこの機会に、たくさんの方からのお申込を心よりお待ちしております。

講演1



青柳 正規 会員

東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学文学部教授、東京大学副学長、国立西洋美術館館長等を歴任、文化庁長官。青柳氏は、古代ローマ遺跡ポンペイの研究で国際的に名高く、当該遺跡に現存する作品を中心に、500点余の壁画図版に学術的解説を施した大部の美術書を完成したことにより、高い評価を得ている。

Profile

イタリアでの発掘40年

Forty Years Archaeological Excavation in Italy

イタリアの古代ローマ遺跡発掘に従事するようになって今年で40年になる。最初はヴェスヴィオ火山噴火で埋没したポンペイ遺跡の中の「エウローパの船の家」が調査対象だった。400平方メートルほどの小規模な住宅の8割以上がすでに発掘されており、残りを我々が発掘した。5年ほどかけた調査と報告書の出版が終わった1979年からはシチリア島南海岸にある都市アグリジェントの西方約20キロでの古代ローマ時代の別荘遺跡の発掘である。海岸沿いにある別荘からは複雑な構成をもつ浴場施設も出土した。5次にわたる発掘調査と2年間の遺物整理が終わった段階で着手したのが1992年から始めたタルクニアでの海浜別荘の発掘である。ここでの調査は2005年まで続いたが、2002年からはヴェスヴィオ山北麓のソルマ・ヴェスヴィアーナ市で「アウグストゥスの別荘」と地元では呼ばれている遺跡の調査を開始し、現在までに3000平方メートル以上を発掘した。しかし、全体の三分の一程度にしかならない。以上のような発掘調査を通じてどのようなことが判明したのか、そして考古学や古代史にどのような貢献をしたのかをお話する予定である。

司会 | 伊藤貞夫 会員

講演2



野依 良治 会員

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。名古屋大学理学部教授、高等研究院院長等を歴任、理化学研究所理事長。左右の分子の作り分けは生命現象との関わりから、極めて重要であるが、人工的に達成することは困難であった。野依氏の研究は左右分子の選択的化学合成を工業的水準で可能にした画期的なもので、2001年のノーベル化学賞が贈られた。

Profile

未来社会をつくる科学技術

Science and Technology for Future Society

科学は人類にとって普遍的な意義をもつ。かけがえのない科学的発見の積み重ねが、人びとに真っ当な自然観、人生観をもたらす。さらに、科学知に基づく新技術の開発は大きな社会的、経済的価値を創り出す。一方で、現代文明はあまりに多大の資源を消費しており、気候変動はじめ地球規模の深刻な問題を惹き起こしている。このままでは文明社会は必ず破綻する。限られた地球の枠組みの中、人類はいかに生き続けるのか。地球は一つ、世界中の70億人の人はすべてつながっている。次世代を背負うすべての人たちが、自然の仕組みを科学的に理解し、知恵を出し合い、手を携えて歩まねばならない。

司会 | 内田祥哉 会員

◎事前にお申込が必要です。(定員150名・先着順)

申込方法

メール、ファックス、往復はがきのいずれかの方法で、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、メールアドレス等の連絡先を記載して、下記の連絡先にお送りください。後日、本院よりお返事を差し上げます。

※本院HP (<http://www.japan-acad.go.jp/>)からもお申込できます。

✉ メール kouenkai@japan-acad.go.jp

FAX 03-3822-2105

往復ハガキ 〒110-0007

東京都台東区上野公園7-32 日本学士院 公開講演会係

主要駅からのアクセス

- ・JR上野駅公園口から徒歩4分
- ・京成上野駅から徒歩8分
- ・東京メトロ上野駅から徒歩8分

◎お席に限りがございます。お早めのお申込をお願いいたします。

問合せ先

日本学士院 公開講演会係

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32

TEL:03-3822-2101



※車での来場はご遠慮ください。